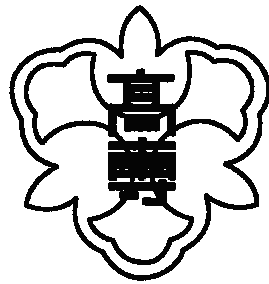


令和7年度

専攻科学生募集要項



選 抜 区 分	出 願 期 間	選 抜 日	合 格 者 発 表 日
推 薦 選 抜	5月15日(水)～ 5月17日(金)	6月1日(土)	6月6日(木)
学 力 選 抜	前期 5月15日(水)～ 5月17日(金)	6月1日(土)	6月6日(木)
	後期 10月21日(月)～ 10月23日(水)	11月 9日(土)	11月14日(木)
社 会 人 特 別 選 抜	10月21日(月)～ 10月23日(水)	11月 9日(土)	11月14日(木)
入 学 手 続	令和7年3月14日(金) 案内は合格者へ3月上旬頃郵送		

独立行政法人 国立高等専門学校機構

豊田工業高等専門学校

教育目標	1	10. 入学確約書の提出	17
専攻科アドミッション・ポリシー	1	11. 出願及び受験上の注意	17
技術者教育プログラム（JABEE認定）	2	12. 入学手続	17
Ⅰ. 専攻名及び入学定員	3		
Ⅱ. 修業年限	3	IX. 社会人特別選抜	
Ⅲ. 選抜の種類	3	1. 出願資格	18
Ⅳ. 選抜基準	3	2. 入学願書受付	18
Ⅴ. 出願についての注意事項		3. 出願手続	18
1. 事前相談に関して	5	4. 出願に必要な書類等	19
2. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に に関して	5	5. 選抜方法	20
		6. 学力試験等の日時及び場所	20
		7. 追試験	20
		8. 合格者発表	21
		9. 入学確約書の提出	21
		10. 出願及び受験上の注意	21
		11. 入学手続	21
Ⅵ. 推薦による選抜			
1. 出願資格	5	X. 入学案内	
2. 入学願書受付	5	1. 沿革	22
3. 出願手続	5	2. 専攻科の設置目的	22
4. 出願に必要な書類等	6	3. 専攻名及び入学定員	22
5. 選抜方法	7	4. 各専攻の特色	22
6. 面接試験の日時及び場所	7	5. 専攻科修了生の進路先	23
7. 追試験	7	6. 教育課程	23
8. 合格者発表	7	7. 修了要件	23
9. 入学確約書の提出	8	8. 学士（工学）の学位の取得方法	23
10. 出願及び受験上の注意	8	9. 授業料等学納金	23
11. 入学手続	8	10. 入学科免除	24
		11. 入学料の徴収猶予	24
		12. 高等教育の修学支援新制度	24
		13. 日本学生支援機構貸与型奨学金制度 その他奨学金等	24
Ⅶ. 学力試験による選抜〔前期〕			
1. 出願資格	8	出願様式等	
2. 入学願書受付	9	・様式1 入学願書	
3. 出願手続	9	・様式2 推薦書	
4. 出願に必要な書類等	9	・様式3 調査書	
5. 選抜方法	10	・様式4 TOEIC トータルスコア成績申出書	
6. 学力試験の試験科目	11	・様式5-1 写真票（推薦選抜） 受験票（推薦選抜）	
7. 学力試験等の日時及び場所	11	・様式5-2 写真票（学力選抜〔前期〕） 受験票（学力選抜〔前期〕）	
8. 追試験	12	・様式5-3 写真票（学力選抜〔後期〕） 受験票（学力選抜〔後期〕）	
9. 合格者発表	12	・様式5-4 写真票（社会人特別選抜） 受験票（社会人特別選抜）	
10. 入学確約書の提出	12	・様式6 経費支弁計画書	
11. 出願及び受験上の注意	12	・振込依頼書	
12. 入学手続	12	・宛名票	
Ⅷ. 学力試験による選抜〔後期〕			
1. 出願資格	13		
2. 入学願書受付	13		
3. 出願手続	13		
4. 出願に必要な書類等	14		
5. 選抜方法	15		
6. 学力試験の試験科目	15		
7. 学力試験等の日時及び場所	16		
8. 追試験	16		
9. 合格者発表	17		

教育目標

1. **ものづくり能力**
社会の変化と要請を的確に捉え、ものづくりを多面的に認識し、実現可能なシステムを構築できる技術者の養成
2. **基礎学力**
実験・実習で培われる豊かな体験と基礎理論の深い理解との融合から生まれるエンジニアリング基盤の確立
3. **問題解決能力**
問題意識と考える力を持ち、自ら学習することによる創造力と実践力を備えた技術者の養成
4. **コミュニケーション能力**
科学的な分析に基づく論理的な記述力、明解な口頭発表能力、十分な討議能力、および国際的に通用するコミュニケーション能力の修得
5. **技術者倫理**
世界の文化・歴史の中で、技術が社会に与える影響を考え、自らの責任を自覚し誇りを持つことのできる技術者の育成

専攻科アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

本校では社会の要請にこたえる実践的技術者を養成するため知識や技能に優れ、思考力や判断力を有し、優れた表現力で多様な人々と協働できる主体性を持った学生を受け入れるため次のようなアドミッション・ポリシーを定めます。

[1] 求める学生像

専攻科においては、以下の学生を受け入れます。

1. 自然科学や工学の基礎を身につけており、先端的技術を学ぶ意欲のある人
2. 自主性と創造性を発揮し、さまざまな問題を解決する意欲のある人
3. 国際的コミュニケーション能力の基礎を身につけている人

[2] 入学者選抜の基本方針

本校の教育理念に基づき、教育目標に沿った人材を育成するために、異なる入試方法と多面的な評価方法により入学希望者を選抜します。

[学力試験による選抜（前期・後期）]

出願資格を有するすべての者を対象とした学力試験による選抜を行います。

まず、本校で学習するために必要な能力を有しているかを調査書によって評価します。次に、一般教育、専門教育を十分理解できる能力を有しているかを判断するために、学力試験によって数学及び専門科目の基礎学力を評価します。英語の能力については、TOEIC スコアによって

評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを面接によって評価します。

[推薦による選抜]

出願資格を有し、高等専門学校長から推薦されることを前提とします。

まず、本校で学習するために必要な能力を有しているかを調査書によって評価します。次に、明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを面接によって評価します。

[社会人特別選抜]

出願資格を有していることを前提とします。

まず、本校で学習するために必要な能力を有しているかを調査書によって評価します。次に、論述試験及び面接によって専門に関する基礎学力を評価します。英語の能力については、TOEICスコアによって評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを面接によって評価します。

技術者教育プログラム（J A B E E 認定）

本校専攻科では、J A B E E（日本技術者教育認定機構）^{注）}によって認定された技術者教育プログラムを実施しております。専攻科入学生は全員 J A B E E 認定技術者教育プログラムの履修者となります。

専攻名	プログラム名
電子機械工学専攻	電気・電子システム工学プログラム 機械工学プログラム
建設工学専攻	建築学プログラム 環境都市工学プログラム
情報科学専攻	情報科学

本校準学士課程卒業時に各プログラムに属している者以外は、専攻科入学後に各プログラムの修了要件を満たすことができるかどうか審議します。その結果、不足科目、不足単位数がある学生に対しては、これらを明らかにし、プログラム修了要件を満たすように指導します。その際、プログラム修了要件を満たすために修業年限が延長される場合があります。

注) J A B E E の詳細につきましては、下記のホームページで参照ください。

<https://www.jabee.org/>

I. 専攻名及び入学定員

専攻名	入学定員	技術者教育プログラム(JABEE認定)プログラム名
電子機械工学専攻	8名	電気・電子システム工学プログラム
		機械工学プログラム
建設工学専攻	8名	建築学プログラム
		環境都市工学プログラム
情報科学専攻	4名	情報科学

II. 修業年限

2年

III. 選抜の種類

入学者の選抜には、

- ・推薦による選抜
- ・学力試験による選抜（前期及び後期）
- ・社会人特別選抜

があります。

IV. 選抜基準

専攻内に複数の技術者教育プログラム（JABEE認定）がある場合（電子機械工学専攻、建設工学専攻）は、志望する技術者教育プログラム（JABEE認定）により選抜します。

また、上記の他、次の基準により選抜します。

1. **推薦による選抜**の合否判定は次の2基準により選抜します。
 - (1) 面接における評価が基準以上であること。
 - (2) 調査書における評点を基に点数化し、その点数が基準点以上であること。
2. **学力試験による選抜**の合否判定は次の4基準により選抜します。
 - (1) 面接における評価が基準以上であること。
 - (2) 調査書における評点を基に点数化し、その点数が基準点以上であること。
 - (3) 数学及び専門科目の合計点が基準点以上であること。
 - (4) 数学、英語（TOEIC スコアから換算する。[※]）と専門科目の合計点の上位から順次合格とする。

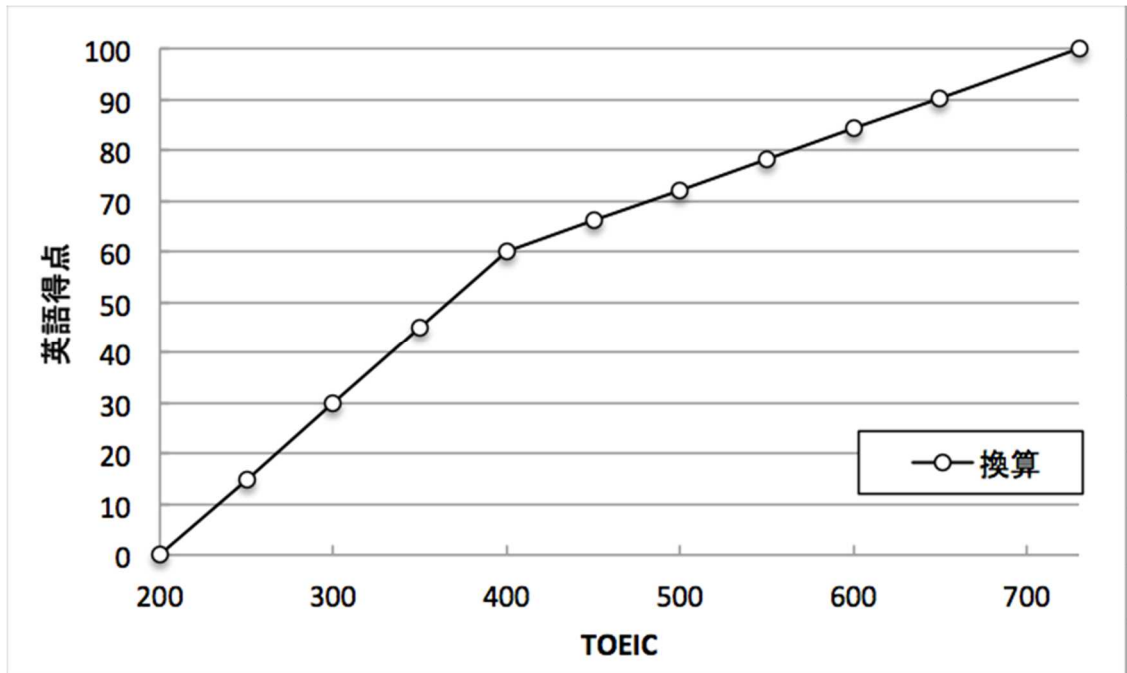
3. **社会人特別選抜** 合否判定は次の3基準により選抜します。

- (1) 面接における評価が基準以上であること。
- (2) 調査書における評点を基に点数化し、その点数が基準点以上であること。
- (3) 論述試験と英語 (TOEIC スコアから換算する。^{注)} の合計点が基準点以上であること。

注) 令和4年4月1日以降に受験した TOEIC L&R (公開テスト又は IP テスト) のスコアを次の換算式により 100 点満点に換算し、英語の得点とします。なお、換算後の値が 0 点以下になる場合は 0 点、又 100 点以上になる場合は 100 点とします。また、小数点以下は切り捨てとします。

- (1) TOEIC L&R のスコアが 400 点未満の換算式
$$\{(\text{TOEIC L\&R のスコア}) - 400\} \times \frac{3}{10} + 60$$
- (2) TOEIC L&R のスコアが 400 点以上の換算式
$$\{(\text{TOEIC L\&R のスコア}) - 400\} \times \frac{4}{33} + 60$$

【換算概略値の例】



V. 出願についての注意事項

1. 事前相談に関して

下記①、②に該当する方は、出願に先立ち（独）大学改革支援・学位授与機構の「学士の学位の授与に係る特例の適用認定（特例認定）」の適用を受けられるかの確認を行う必要があります。

出願期間初日の1か月前までに本校学生課教務係に照会してください。

- ① 「推薦による選抜」または「学力試験による選抜」へ出願を希望する者で、令和7年3月に本校卒業見込以外の者
- ② 「社会人特別選抜」へ出願を希望する者

2. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

本校に入学を志願する者で障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望するものは、早めに学生課教務係に相談してください。

相談先：豊田工業高等専門学校 学生課教務係

〒471-8525 豊田市栄生町2丁目1番地

TEL (0565) 36-5912 (学生課教務係直通)

VI. 推薦による選抜

1. 出願資格

令和7年3月に高等専門学校を卒業見込みの者で、学校長が学業成績・人物ともに優れていると認め、推薦する者とします。

2. 入学願書受付

(1) 受付期間 **令和6年5月15日（水）から5月17日（金）まで**

(2) 受付時間 **9時～17時**

郵送の場合も、**5月17日（金）17時必着**とします。

(3) 受付場所 豊田工業高等専門学校 学生課教務係

〒471-8525 豊田市栄生町2丁目1番地

TEL (0565) 36-5912 (学生課教務係直通)

3. 出願手続

志願者は、出願に必要な書類を整え、出願期間中に持参又は郵送してください。

なお、郵送の場合は、簡易書留・速達郵便とし、封筒の表に『**専攻科出願書類在中**』と**朱書**してください。

4. 出願に必要な書類等

(1) 入学願書 (様式1)	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
(2) 卒業研究概要等 (様式1裏面)	本校所定の用紙(入学願書裏面)に必要事項を記入したもの。
(3) 推薦書 [※] (様式2)	本校所定の様式に出身学校長が作成したもの。
(4) 調査書 [※] (様式3)	本校所定の用紙に出身学校長が作成し、厳封したもの。
(5) 成績証明書	出身学校長が作成し、厳封したもの。 (高等学校から高等専門学校に編入学した者は、出身高等学校の成績証明書も併せて提出してください。)
(6) 写真票 (様式5-1)	出願前3か月以内に撮影した上半身・正面向・無帽・無背景(受験の際、眼鏡を使用する者は眼鏡をかける)の写真(パスポートサイズ)を貼り、必要事項を記入したもの。
(7) 受験票 (様式5-1)	本校所定の用紙に、必要事項を記入したもの。
(8) 検定料	16,500円 (ア) 本校所定の用紙に記入の上、振込の手続(手数料は振込人負担)を行い、振込金証明書を出願書類とともに提出してください。 ※ゆうちょ銀行から振り込む場合は、「振込依頼書(兼振替払出請求書)(お客さま控)」を提出してください。 (イ) 願書受付後の検定料は返還しません。ただし、以下の場合は返還請求できます。 ・国費外国人留学生(高等専門学校留学生)が、当該専攻科への入学を許可され、かつ国費外国人留学生として留学期間の延長が認められた場合 ・検定料を納付したが出願しなかった場合 ・検定料を重複して納付した場合 ※本校では、災害救助法適用地域における災害により検定料免除の臨時措置の適用を受けられる場合があります。詳細は本校学生課教務係にお問合せください。
(9) 受験票返信用封筒	344円(速達)分の切手を貼った長形3号(120×235mm)の封筒を同封してください。 ただし、入学願書を持参する場合は不要です。
(10) 宛名票	連絡の際に使用するので、正確に記入してください。

(11) そ の 他	<p>現に日本国に在住している外国人は、市区町村長が交付する「住民票の写し」（コピー不可）を提出してください。</p> <p>外国人であって日本国の永住許可を得ていない者は「経費支弁計画書」（様式6）を提出してください。</p>
------------	--

注) 推薦書（様式2）及び調査書（様式3）については、本校ウェブページ
[\(https://www.toyota-ct.ac.jp/\)](https://www.toyota-ct.ac.jp/), トップページ > 入試情報 > 専攻科生募集案内
 から様式（様式2はワードファイル, 様式3はエクセルファイル）をダウンロードし、使
 用してください。

※ 個人情報の取扱い

提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価と
 いった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、
 次の目的のためにも利用します。（②～⑤については、入学者の情報のみ利用します。）

- ① 本校及び国立高等専門学校機構の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
- ② 入学後の教育・指導
- ③ 入学料, 授業料の免除申請の審査
- ④ 奨学金申請の審査
- ⑤ 本校教育後援会及び同窓会の事務

5. 選抜方法

入学者の選抜は、在籍学校長からの推薦書と調査書及び面接の結果を総合して行いま
 す。（3ページの選抜基準を参照）

6. 面接試験の日時及び場所

試験日	令和6年6月1日（土）	
	時 間	場 所
面 接	10時00分～	豊田工業高等専門学校 豊田市栄生町2丁目1番地

※ 9時30分に学生課事務室前に集合してください。

なお、午前7時の時点で、「豊田市西部」に暴風警報, 大雨特別警報又は暴風特別警報
 が発令されている場合は、試験日を翌日の6月2日（日）に変更します（時間の変更は
 ありません）。

7. 追試験

新型コロナウイルス等による感染症に罹患し、本試験を受験することができなかった受験
 生は、6月15日（土）に追試験を受験することができます。本試験出願者で該当する場
 合に詳細をお知らせします。

8. 合格者発表 令和6年6月6日（木）10時30分（学生課事務室前）

学生課事務室前に掲示後、本校ウェブページに掲載し、全受験者に対して選抜結果通知書
 を送付します。

なお、電話等による合否の照会には一切応じられません。

9. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を**令和6年6月20日(木)**までに提出してください。この期限内に「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学の意志がないものとして取り扱います。

10. 出願及び受験上の注意

- (1) 受理した出願書類及び検定料は返還しません。
- (2) 願書受付後は、志望専攻、その他記載事項の変更は認めません。
- (3) 試験当日は、「受験票」を必ず持参してください。
- (4) 出願書類提出後、住所又は郵便受取先を変更したときは、直ちに本校学生課教務係に届け出てください。
- (5) 出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- (6) 建設工学専攻（建築学プログラム）に関しては、出身学校等での科目・単位取得状況によっては、一級建築士若しくは二級建築士の受験資格を取得できないことがあります。

11. 入学手続 **令和7年3月14日(金) 必着**

郵送にて入学関係書類を送付しますので、郵送された（3月上旬頃発送予定）入学関係書類に必要事項等を記入し、郵送にて学生課教務係へ提出してください。（直接持参可）

Ⅶ. 学力試験による選抜〔前期〕

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- ① 高等専門学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
- ② 高等学校の専攻科の課程を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者のうち学校教育法第58条の2の規定により大学に編入学することができる者
- ③ 短期大学を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
- ④ 専修学校の専門課程を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- ⑤ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者
- ⑥ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- ⑦ 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑧ その他、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(注) ⑧による場合は、「個別の入学資格審査」を行うので、学生課教務係に問い合わせてください。

2. 入学願書受付

- (1) 受付期間 **令和6年5月15日(水)から5月17日(金)まで**
(2) 受付時間 **9時～17時**
郵送の場合も、**5月17日(金)17時必着**とします。
(3) 受付場所 豊田工業高等専門学校 学生課教務係
〒471-8525
豊田市栄生町2丁目1番地
TEL (0565) 36-5912 (学生課教務係直通)

3. 出願手続

- 志願者は、出願に必要な書類を整え、受付期間中に持参又は郵送してください。
なお、郵送の場合は、簡易書留・速達郵便とし、封筒の表に『**専攻科出願書類在中**』と**朱書**してください。
出願手続及び出願に必要な書類等に疑問等のある場合は、事前に学生課教務係に相談してください。

4. 出願に必要な書類等

(1)入 学 願 書 (様式1)	本校所定の用紙に、必要事項を記入したもの。
(2)卒業研究概要等 (様式1裏面)	本校所定の用紙(入学願書裏面)に、必要事項を記入したもの。
(3)調 査 書 [※] (様式3)	本校所定の用紙に、出身学校長が作成し、厳封したもの。
(4)成 績 証 明 書	出身学校長が作成し、厳封したもの。 (高等学校から高等専門学校に編入学した者及び出願資格②～⑦の者は、出身高等学校等の成績証明書も併せて提出してください。)
(5)TOEIC トータルスコ ア成績申出書 (様式4)	TOEIC L&R (公開テスト又はIPテスト)の成績は、令和4年4月1日以降に受験した試験の公式認定証(写)、又はIPテストにおける個人成績表(写)を添付してください。 なお、試験当日は公式認定証又はIPテストにおける個人成績表(原本)を持参してください。
(6)写 真 票 (様式5-2)	出願前3か月以内に撮影した上半身・正面向・無帽・無背景(受験の際、眼鏡を使用する者は眼鏡をかける)の写真(パスポートサイズ)を貼り、必要事項を記入したもの。
(7)受 験 票 (様式5-2)	本校所定の用紙に、必要事項を記入したもの。

(8)検 定 料	<p>16,500円</p> <p>(ア) 本校所定の用紙に記入の上、振込の手続(手数料は振込人負担)を行い、振込金証明書を出願書類とともに提出してください。</p> <p>※ゆうちょ銀行から振り込む場合は、「振込依頼書(兼振替払出請求書)(お客さま控)」を提出してください。</p> <p>(イ) 願書受付後の検定料は返還しません。ただし、以下の場合は返還請求できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国費外国人留学生(高等専門学校留学生)が、当該専攻科への入学を許可され、かつ国費外国人留学生として留学期間の延長が認められた場合 ・検定料を納付したが出願しなかった場合 ・検定料を重複して納付した場合 <p>※本校では、災害救助法適用地域における災害により検定料免除の臨時措置の適用を受けられる場合があります。詳細は本校学生課教務係にお問合せください。</p>
(9)受験票返信用封筒	<p>344円(速達)分の切手を貼った長形3号(120×235mm)の封筒を同封してください。</p> <p>ただし、入学願書を持参する場合は不要です。</p>
(10)宛 名 票	<p>連絡の際に使用するので、正確に記入してください。</p>
(11)そ の 他	<p>現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の交付する「住民票の写し」(コピー不可)を提出してください。</p> <p>外国人であって日本国の永住許可を得ていない者は「経費支弁計画書」(様式6)を提出してください。</p>

注) 調査書(様式3)については、本校ウェブページ(<https://www.toyota-ct.ac.jp/>),
 トップページ > 入試情報 > 専攻科生募集案内
 から様式(エクセルファイル)をダウンロードし、使用してください。

※ 個人情報の取扱い

提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。(②～⑤については、入学者の情報のみ利用します。)

- ① 本校及び国立高等専門学校機構の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
- ② 入学後の教育・指導
- ③ 入学料、授業料の免除申請の審査
- ④ 奨学金申請の審査
- ⑤ 本校教育後援会及び同窓会の事務

5. 選抜方法

入学者の選抜は、学力試験、調査書及び面接の結果を総合して行います。(3ページの選抜基準を参照)

6. 学力試験の試験科目

(1) 一般科目

数学：基礎数学（基本的な関数，順列・組合せ，確率を含む。），微分積分（2変数の微分積分と微分方程式を含む。），線形代数（1次変換及び行列の対角化を含む。）

※ 出願時には，令和4年4月1日以降に受験したTOEIC L&R（公開テスト又はIPテスト）の公式認定証（写），又はIPテストにおける個人成績表（写）を提出し，試験当日は，公式認定証又はIPテストにおける個人成績表（原本）を持参してください。

(2) 専門科目

専攻名	プログラム名	出題科目
電子機械工学専攻	電気・電子システム工学プログラム	電気磁気学（100点），電気回路（100点）
	機械工学プログラム	機械力学（50点），熱力学（50点），水力学（50点），材料力学（50点） （各科目における基礎領域）
建設工学専攻	建築学プログラム	建築構造・材料（100点），建築計画（建築史，建築環境工学等を含む。）（100点）
	環境都市工学プログラム	構造力学（70点），水理学（70点），土質力学（60点）
情報科学専攻	情報科学	アルゴリズムとデータ構造（80点），情報通信工学（信号解析を含む。）（60点），コンピュータアーキテクチャ（60点）

※ 専門科目については，ルート及び四則計算のみの電卓使用を可とし，関数電卓（関数計算機能付き電卓）やプログラム可能な電卓等の計算機は不可とします。

7. 学力試験等の日時及び場所

試験日 令和6年6月1日（土）

科目等（配点）	時間	場所
数学（100点）	10：00～11：30	豊田工業高等専門学校 豊田市栄生町2丁目1番地
専門科目（200点）	12：40～14：10	
面接	14：40～	

※ 9時30分に学生課事務室前に集合してください。

なお，午前7時の時点で，「豊田市西部」に暴風警報，大雨特別警報又は暴風特別警報が発令されている場合は，試験日を翌日の6月2日（日）に変更します（時間の変更はありません）。

8. 追試験

新型コロナウイルス等による感染症に罹患し、本試験を受験することができなかった受験生は、6月15日（土）に追試験を受験することができます。本試験出願者で該当する場合に詳細をお知らせします。

9. 合格者発表 令和6年6月6日（木）10時30分（学生課事務室前）

学生課事務室前に掲示後、本校ウェブページに掲載し、全受験者に対して選抜結果通知書を送付します。

なお、電話等による合否の照会には一切応じられません。

10. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を**令和6年9月19日（木）17時**までに提出してください。この期限内に「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学の意志がないものとして取り扱います。

11. 出願及び受験上の注意

- (1) 受理した出願書類及び検定料は返還しません。
- (2) 願書受付後は、志望専攻、その他記載事項の変更は認めません。
- (3) 試験当日は、「**受験票**」を**必ず持参してください。**
- (4) 試験当日は、TOEIC L&R（公開テスト又はIPテスト）の**公式認定証又はIPテストにおける個人成績表（原本）を持参してください。**
- (5) 出願書類提出後、住所又は郵便受取先を変更したときは、直ちに本校学生課教務係に届け出てください。
- (6) 出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- (7) 建設工学専攻（建築学プログラム）に関しては、出身学校等での科目・単位修得状況によっては、一級建築士若しくは二級建築士の受験資格を取得できないことがあります。
- (8) 昼食は各自持参してください。
- (9) 試験場に時計は設置されていません。

12. 入学手続 令和7年3月14日（金）必着

郵送にて入学関係書類を送付しますので、郵送された（3月上旬頃発送予定）入学関係書類に必要事項等を記入し、郵送にて学生課教務係へ提出してください。（直接持参可）

Ⅷ. 学力試験による選抜〔後期〕

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- ① 高等専門学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
 - ② 高等学校の専攻科の課程を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者のうち学校教育法第58条の2の規定により大学に編入学することができる者
 - ③ 短期大学を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
 - ④ 専修学校の専門課程を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
 - ⑤ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者
 - ⑥ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
 - ⑦ 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - ⑧ その他、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (注) ⑧による場合は、「個別の入学資格審査」を行うので、学生課教務係に問い合わせてください。

2. 入学願書受付

- (1) 受付期間 **令和6年10月21日（月）から10月23日（水）まで**
- (2) 受付時間 **9時～17時**
郵送の場合も、**10月23日（水）17時必着**とします。
- (3) 受付場所 豊田工業高等専門学校 学生課教務係
〒471-8525 豊田市栄生町2丁目1番地
TEL (0565) 36-5912 (学生課教務係直通)

3. 出願手続

志願者は、出願に必要な書類を整え、受付期間中に持参又は郵送してください。

なお、郵送の場合は、簡易書留・速達郵便とし、封筒の表に『**専攻科出願書類**在中』と**朱書**してください。

出願手続及び出願に必要な書類等に疑問等のある場合は、事前に学生課教務係に相談してください。

4. 出願に必要な書類等

(1)入 学 願 書 (様式1)	本校所定の用紙に、必要事項を記入したもの。
(2)卒業研究概要等 (様式1裏面)	本校所定の用紙(入学願書裏面)に、必要事項を記入したもの。
(3)調 査 書 [※] (様式3)	本校所定の用紙に、出身学校長が作成し、厳封したもの。
(4)成 績 証 明 書	出身学校長が作成し、厳封したもの。 (高等学校から高等専門学校に編入学した者及び出願資格②～⑦の者は、出身高等学校等の成績証明書も併せて提出してください。)
(5) TOEIC トータルスコア成績申出書 (様式4)	TOEIC L&R(公開テスト又はIPテスト)の成績は、令和4年4月1日以降に受験した試験の公式認定証(写)、又はIPテストにおける個人成績表(写)を添付してください。 なお、試験当日は公式認定証又はIPテストにおける個人成績表(原本)を持参してください。
(6)写 真 票 (様式5-3)	出願前3か月以内に撮影した上半身・正面向・無帽・無背景(受験の際、眼鏡を使用する者は眼鏡をかける)の写真(パスポートサイズ)を貼り、必要事項を記入したもの。
(7)受 験 票 (様式5-3)	本校所定の用紙に、必要事項を記入したもの。
(8)検 定 料	16,500円 (ア)本校所定の用紙に記入の上、振込の手続(手数料は振込人負担)を行い、振入金証明書を出願書類とともに提出してください。 ※ゆうちょ銀行から振り込む場合は、「振込依頼書(兼振替払出請求書)(お客さま控)」を提出してください。 (イ)願書受付後の検定料は返還しません。ただし、以下の場合は返還請求できます。 ・国費外国人留学生(高等専門学校留学生)が、当該専攻科への入学を許可され、かつ国費外国人留学生として留学期間の延長が認められた場合 ・検定料を納付したが出願しなかった場合 ・検定料を重複して納付した場合 ※本校では、災害救助法適用地域における災害により検定料免除の臨時措置の適用を受けられる場合があります。詳細は本校学生課教務係にお問合せください。

(9)受験票返信用封筒	344円(速達)分の切手を貼った長形3号(120×235mm)の封筒を同封してください。 ただし、入学願書を持参する場合は不要です。
(10)宛 名 票	連絡の際に使用するので、正確に記入してください。
(11)そ の 他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の交付する「住民票の写し」(コピー不可)を提出してください。 外国人であって日本国の永住許可を得ていない者は「経費支弁計画書」(様式6)を提出してください。

注) 調査書(様式3)については、本校ウェブページ(<https://www.toyota-ct.ac.jp/>),
トップページ > 入試情報 > 専攻科生募集案内

から様式(エクセルファイル)をダウンロードし、使用してください。

※ 「学力試験による選抜〔前期〕」に不合格となった者が、「学力試験による選抜〔後期〕」を受験する場合、内容に変更がない限り、上記(3), (4), (5), (10)の書類提出は不要です。

※ 個人情報の取扱い

提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。(②～⑤については、入学者の情報のみ利用します。)

- ① 本校及び国立高等専門学校機構の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
- ② 入学後の教育・指導
- ③ 入学料、授業料の免除申請の審査
- ④ 奨学金申請の審査
- ⑤ 本校教育後援会及び同窓会の事務

5. 選抜方法

入学者の選抜は、学力試験、調査書及び面接の結果を総合して行います。(3ページの選抜基準を参照)

6. 学力試験の試験科目

(1) 一般科目

数学：基礎数学(基本的な関数、順列・組合せ、確率を含む。), 微分積分(2変数の微分積分と微分方程式を含む。), 線形代数(1次変換及び行列の対角化を含む。)

※ 出願時には、令和4年4月1日以降に受験したTOEIC L&R(公開テスト又はIPテスト)の公式認定証(写), 又はIPテストにおける個人成績表(写)を提出し、試験当日は、公式認定証又はIPテストにおける個人成績表(原本)を持参してください。

(2) 専門科目

専攻名	プログラム名	出題科目
電子機械工学専攻	電気・電子システム工学プログラム	電気磁気学 (100点), 電気回路 (100点)
	機械工学プログラム	機械力学 (50点), 熱力学 (50点), 水力学 (50点), 材料力学 (50点) (各科目における基礎領域)
建設工学専攻	建築学プログラム	建築構造・材料 (100点), 建築計画 (建築史, 建築環境工学等を含む。) (100点)
	環境都市工学プログラム	構造力学 (70点), 水理学 (70点), 土質力学 (60点)
情報科学専攻	情報科学	アルゴリズムとデータ構造 (80点), 情報通信工学 (信号解析を含む。) (60点), コンピュータアーキテクチャ (60点)

※ 専門科目については、ルート及び四則計算のみの電卓使用を可とし、関数電卓（関数計算機能付き電卓）やプログラム可能な電卓等の計算機は不可とします。

7. 学力試験等の日時及び場所

試験日 令和6年11月9日（土）

科目等 (配点)	時間	場所
数学 (100点)	10:00~11:30	豊田工業高等専門学校 豊田市栄生町2丁目1番地
専門科目 (200点)	12:40~14:10	
面接	14:40~	

※ 9時30分に学生課事務室前に集合してください。

なお、午前7時の時点で、「豊田市西部」に暴風警報、大雨特別警報又は暴風特別警報が発令されている場合は、試験日を翌日の11月10日（日）に変更します（時間の変更はありません）。

8. 追試験

新型コロナウイルス等による感染症に罹患し、本試験を受験することができなかった受験生は、11月23日（土）に追試験を受験することができます。本試験出願者で該当する場合に詳細をお知らせします。

9. 合格者発表 **令和6年11月14日（木）10時30分（学生課事務室前）**
学生課事務室前に掲示後、本校ウェブページに掲載し、全受験者に対して選抜結果通知書を送付します。

なお、電話等による合否の照会には一切応じられません。

10. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を**令和7年1月8日（水）**までに提出してください。この期限内に「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学の意志がないものとして取り扱います。

11. 出願及び受験上の注意

- (1) 受理した出願書類及び検定料は返還しません。
- (2) 願書受付後は、志望専攻、その他記載事項の変更は認めません。
- (3) 試験当日は、「**受験票**」を必ず持参してください。
- (4) 試験当日は、TOEIC L&R（公開テスト又はIPテスト）の**公式認定証又はIPテストにおける個人成績表（原本）**を持参してください。
- (5) 出願書類提出後、住所又は郵便受取先を変更したときは、直ちに本校学生課教務係に届け出てください。
- (6) 出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- (7) 建設工学専攻（建築学プログラム）に関しては、出身学校等での科目・単位修得状況によっては、一級建築士若しくは二級建築士の受験資格を取得できないことがあります。
- (8) 昼食は各自持参してください。
- (9) 試験場に時計は設置されていません。

12. 入学手続 **令和7年3月14日（金）必着**

郵送にて入学関係書類を送付しますので、郵送された（3月上旬頃発送予定）入学関係書類に必要事項等を記入し、郵送にて学生課教務係へ提出してください。（直接持参可）

Ⅸ. 社会人特別選抜

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、出願時に社会人としての経験を1年以上有する者とします。

- ① 高等専門学校を卒業した者
- ② 高等学校の専攻科の課程を修了した者のうち学校教育法第58条の2の規定により大学に編入学することができる者
- ③ 短期大学を卒業した者
- ④ 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- ⑤ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- ⑥ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- ⑦ 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑧ その他、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(注) ⑧による場合は、「個別の入学資格審査」を行うので、学生課教務係に問い合わせてください。

2. 入学願書受付

(1) 受付期間 **令和6年10月21日（月）から10月23日（水）まで**

(2) 受付時間 **9時～17時**

郵送の場合も、**10月23日（水）17時必着**とします。

(3) 受付場所 豊田工業高等専門学校 学生課教務係

〒471-8525 豊田市栄生町2丁目1番地

TEL (0565) 36-5912 (学生課教務係直通)

3. 出願手続

志願者は、出願に必要な書類を整え、受付期間中に持参又は郵送すること。

なお、郵送の場合は、簡易書留・速達郵便とし、封筒の表に『**専攻科出願書類在中**』と**朱書**してください。

出願手続及び出願に必要な書類等に疑問等のある場合は、事前に学生課教務係に相談してください。

4. 出願に必要な書類等

(1)入 学 願 書 (様式1)	本校所定の用紙に、必要事項を記入したもの。
(2)卒業研究概要等 (様式1裏面)	本校所定の用紙(入学願書裏面)に、必要事項を記入したもの。
(3)調 査 書 [㊦] (様式3)	本校所定の用紙に、出身学校長が作成し、厳封したもの。
(4)成 績 証 明 書	出身学校長が作成し、厳封したもの。 (高等学校から高等専門学校に編入学した者及び出願資格②～⑦の者は、出身高等学校等の成績証明書も併せて提出してください。)
(5) TOEIC トータルスコア成績申出書 (様式4)	TOEIC L&R(公開テスト又はIPテスト)の成績は、令和4年4月1日以降に受験した試験の公式認定証(写)、又はIPテストにおける個人成績表(写)を添付してください。 なお、試験当日は公式認定証又はIPテストにおける個人成績表(原本)を持参してください。
(6)写 真 票 (様式5-4)	出願前3か月以内に撮影した上半身・正面向・無帽・無背景(受験の際、眼鏡を使用する者は眼鏡をかける)の写真(パスポートサイズ)を貼り、必要事項を記入したもの。
(7)受 験 票 (様式5-4)	本校所定の用紙に、必要事項を記入したもの。
(8)検 定 料	16,500円 (ア)本校所定の用紙に記入の上、振込の手続(手数料は振込人負担)を行い、振込金証明書を出願書類とともに提出してください。 ※ゆうちょ銀行から振り込む場合は、「振込依頼書(兼振替払出請求書)(お客さま控)」を提出してください。 (イ)願書受付後の入学検定料は返還しません。ただし、以下の場合は返還請求できます。 ・検定料を納付したが出願しなかった場合 ・検定料を重複して納付した場合 ※本校では、災害救助法適用地域における災害により検定料免除の臨時措置の適用を受けられる場合があります。詳細は本校学生課教務係にお問合せください。
(9)受験票返信用封筒	344円(速達)分の切手を貼った長形3号(120×235mm)の封筒を同封してください。 ただし、入学願書を持参する場合は不要です。

(10)宛 名 票	連絡の際に使用するので、正確に記入してください。
(11)そ の 他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の交付する「住民票の写し」(コピー不可)を提出してください。 外国人であって日本国の永住許可を得ていない者は「経費支弁計画書」(様式6)を提出してください。

注) 調査書(様式3)については、本校ウェブページ(<https://www.toyota-ct.ac.jp/>),
トップページ > 入試情報 > 専攻科生募集案内
から様式(エクセルファイル)をダウンロードし、使用してください。

※ 個人情報の取扱い

提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。(②～⑤については、入学者の情報のみ利用します。)

- ① 本校及び国立高等専門学校機構の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
- ② 入学後の教育・指導
- ③ 入学料、授業料の免除申請の審査
- ④ 奨学金申請の審査
- ⑤ 本校教育後援会及び同窓会の事務

5. 選抜方法

入学者の選抜は、調査書、専門に関する論述試験及び面接(専門科目に関する口頭試問を含む。)の結果を総合して行います。(3ページの選抜基準を参照)

6. 学力試験等の日時及び場所

試験日 令和6年11月9日(土)

	時 間	場 所
専門に関する論述試験	10:00～11:30	豊田工業高等専門学校 豊田市栄生町2丁目1番地
面接	12:40～	

※ 9時30分に学生課事務室前に集合してください。

なお、午前7時の時点で、「豊田市西部」に暴風警報、大雨特別警報又は暴風特別警報が発令されている場合は、試験日を翌日の11月10日(日)に変更します(時間の変更はありません)。

7. 追試験

新型コロナウイルス等による感染症に罹患し、本試験を受験することができなかった受験生は、11月23日(土)に追試験を受験することができます。本試験出願者で該当する場合に詳細をお知らせします。

8. 合格者発表 **令和6年11月14日(木) 10時30分(学生課事務室前)**
学生課事務室前に掲示後、本校ウェブページに掲載し、全受験者に対して選抜結果通知書を送付します。

なお、電話等による合否の照会には一切応じられません。

9. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を**令和7年1月8日(水)**までに提出してください。この期限内に「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学の意志がないものとして取り扱います。

10. 出願及び受験上の注意

- (1) 受理した出願書類及び検定料は返還しません。
- (2) 願書受付後は、志望専攻、その他記載事項の変更は認めません。
- (3) 試験当日は、**「受験票」を必ず持参してください。**
- (4) 試験当日は、TOEIC L&R（公開テスト又はIPテスト）の**公式認定証又はIPテストにおける個人成績表（原本）を持参してください。**
- (5) 出願書類提出後、住所又は郵便受取先を変更したときは、直ちに本校学生課教務係に届け出てください。
- (6) 出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- (7) 建設工学専攻（建築学プログラム）に関しては、出身学校等での科目・単位修得状況によっては、一級建築士若しくは二級建築士の受験資格を取得できないことがあります。
- (8) 昼食は各自持参してください。
- (9) 試験場に時計は設置されていません。

11. 入学手続 **令和7年3月14日(金) 必着**

郵送にて入学関係書類を送付しますので、郵送された（3月上旬頃発送予定）入学関係書類に必要事項等を記入し、郵送にて学生課教務係へ提出してください。（直接持参可）

X. 入学案内

1. 沿革

- 昭和38年4月 豊田工業高等専門学校設置
平成6年4月 専攻科設置（電子機械工学専攻，建設工学専攻，情報科学専攻）
平成16年4月 独立行政法人国立高等専門学校機構豊田工業高等専門学校となる。

2. 専攻科の設置目的

専攻科は、高等専門学校における教育の基礎の上に、実践的な研究開発ができる技術者、創造性に優れた技術者、広い視野をもった人間性豊かな技術者を育てます。工学に関するより高度な専門的な知識や技術を教授し、創造性豊かで時代に即応できる総合力のある技術者を育成することを目的とし、修業年限は2年です。

3. 専攻名及び入学定員

- ・電子機械工学専攻 8名
- ・建設工学専攻 8名
- ・情報科学専攻 4名

4. 各専攻の特色

(1) 電子機械工学専攻

本科で身に付けた基本能力に加え、社会における技術者の役割と責任を理解するとともに実験、開発の背景を自ら調査・整理し、技術的な問題点を明確にした上で目的と方法を設定し、計画的、継続的に研究できる基礎的な研究開発能力を持つ技術者を育成します。

また、機械工学分野においては、「材料と構造」、「運動と振動」、「エネルギーと流れ」、「情報と計測・制御」、「設計と生産・管理」及び「機械とシステム」の分野に基礎的な造詣を持ち、これらの分野における問題に対して適切な実験を計画し、相応の結果を得ることができ、その結果を外部に伝達できるコミュニケーション能力を持った技術者を養成します。

電気電子工学分野においては、システムの安定性を考慮した制御法及び電子デバイスの利用・計測技術、電気・電子回路設計の実践的知識、スキルと安全意識を身に付けるとともに、整った章立てに従い、分かりやすい日本語文で報告書を作成でき、聴衆に合わせた分かりやすい日本語で口頭発表、質疑応答することができ、TOEIC L&R 450点相当以上の英語運用能力を持った技術者を養成します。

本科4・5学年、専攻科1・2年を対象に、“機械工学プログラム”と“電気・電子システム工学プログラム”の教育プログラムを設置しています。

(2) 建設工学専攻

人間が安全で快適に暮らせる社会の確立のために本科で学んだ環境都市工学あるいは建築学の知識や技術に加え、都市工学、建築学、計画学、環境工学等の学際的な知識や実践的な技術、さらには、CADを利用したデザイン技術や実験を通じた計測技術を修得させます。

また、教育環境を整備し、専攻科生自らが高度な知識や最先端の技術を修得しようとする向上心や探求心を育てます。

特別研究を通して民間との共同研究等へ学生を積極的に参加させて研究開発能力の素

養を身に付けさせるとともに、社会人に対する倫理観、技術者や研究者総合の協調性を修得させます。

さらに、学会やシンポジウム等での口頭発表やコンペティションへ応募できる能力を備えた技術者を育成します。

本科4・5学年、専攻科1・2年を対象に、“環境都市工学プログラム”と“建築学プログラム”の教育プログラムを設置しています。

(3) 情報科学専攻

現実の問題や未知の問題に対して、問題の本質を数理的に捉え、コンピュータシステムを応用した問題解決方法を多角的視野から検討することができる能力を養成します。

さらに、英語によるコミュニケーション基礎能力をもち、日本語を使った説得力のある口頭発表や筋道を立てて報告書を書くことができるとともに、倫理観をもって社会に与える影響を正しく認識できる技術者としての能力を育てます。

本科4・5学年、専攻科1・2年を対象に、“情報科学”教育プログラムを設置しています。

5. 専攻科修了生の進路先

専攻科修了生の進路先については、本校ウェブページにおいて公表しています。

就職先・進学先

トップページ > 受験生の方 > 就職・進学

6. 教育課程

授業科目及び講義概要については、本校ウェブページにおいて公表しています。

トップページ > 在校生の方 > シラバス

7. 修了要件

- (1) 授業科目のうちから計62単位以上を修得すること。
- (2) 各科が定める日本技術者教育認定機構（J A B E E）認定の教育プログラムに定める「科目の修得及び履修に関する要件」を満たすこと。

8. 学士（工学）の学位の取得方法

本校専攻科は学士の学位授与に係る特例の適用認定を受けた認定専攻科であるため、専攻科修了と所定の手続により、修了時に学士（工学）の学位を取得することができます。

ただし、この特例の認定は、本校準学士課程を卒業し、本校専攻科を修了することを前提としているため、それ以外の場合は入学後に特例認定の適用が受けられるかを確認する必要があります。確認の結果によっては、専攻科修了要件を満たしても、特例認定の対象にならず通常の学位申請になる場合があります。

(参考)

- ・大学改革支援・学位授与機構の令和5年度学位審査手数料は、32,000円です。

9. 授業料等学納金

- (1) 入学金 84,600円
- (2) 授業料 前期分 117,300円 (年額 234,600円)

注) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

10. 入学料免除

学資を主として負担している者が入学前1年以内に死亡した場合、又は風水害を受けた場合など特別の事情により入学料の納入が著しく困難と認められる者に対し、選考の上、入学料の全額若しくは半額を免除することがあります。

11. 入学料の徴収猶予

経済的理由により納入期限までに納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる者、学資負担者が、入学前1年以内において死亡し、納入期限までに納入が困難であると認められる者及び入学する者若しくは学資負担者が、入学前1年以内において風水害等の災害を受け、納入期限までに納入が困難であると認められる者に対しては、入学料の徴収を猶予することがあります。

12. 高等教育の修学支援新制度

修学支援新制度により、経済状況及び学力（成績・学習意欲等）の条件に合う方を対象とし、給付奨学金の支給と授業料の減免を併せた支援を行います。

13. 日本学生支援機構貸与型奨学金制度・その他奨学金等

- (1) 独立行政法人日本学生支援機構の規定に基づき、人物・学業ともに優秀かつ健康であって学資の支払いが困難と認められる者に対しては、選考の上、次の奨学金が貸与されます。

ア. 第一種（無利子）

区 分	貸 与 月 額
自宅通学	45,000円
自宅外通学	40,000円 51,000円
自宅・自宅外共通	20,000円 30,000円

イ. 第二種（有利子）

専攻科生に対して貸与され、貸与月額は2万円から12万円の中から選択することができます。

- (2) その他、地方公共団体・民間団体の育英事業や会社等の奨学制度があります。

出願様式等

宛名票

- この宛名票は、本校より受験者宛てに通知する場合に使用するので、番地まで楷書で正確に記入してください。
- 必ず4枚とも記入してください。
- ※印欄は、記入しないでください。

□□□-□□□□

殿

※受験番号

□□□-□□□□

殿

※受験番号

□□□-□□□□

殿

※受験番号

□□□-□□□□

殿

※受験番号

受験番号

※

推 薦 書

令和 年 月 日

豊田工業高等専門学校長 殿

学 校 名 _____

校 長 名 _____ 印

下記の者は、学業成績、人物ともに優れており、貴校専攻科推薦入学にふさわしい者と認め、推薦いたします。

志望専攻 _____

志望プログラム _____

志望者氏名 _____

生 年 月 日 昭和 _____ 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 生

学 業	一般科目： 優 良 可 専門科目： 優 良 可 (○印で明示してください。)		
	特記事項：		
人 物	<p>○能力 (A, B, Cで評価してください。)</p> <p>創造力： _____ 理解力： _____ 直感力： _____ 計画性： _____</p> <p>○性格, 行動 (A, B, Cで評価してください。)</p> <p>自主性： _____ 協調性： _____ 指導力： _____ 向上心： _____</p> <p>持続性： _____ 好奇心： _____</p>		
課 外 活 動	クラブ名： _____ 参加状況 A・B・C (○印で明示してください。)		
	特記事項：		
生 活 態 度	○特技： _____ ○趣味： _____		
	特記事項：		
記載責任者	職 名	氏 名	印

※印欄は、記入しないでください。

学業欄の評価は、上位から概ねそれぞれ1/3ずつ優・良・可と表示してください。

人物欄の評価は、A：すぐれている、B：普通、C：やや劣る、という基準で行ってください。

本様式(様式2)については、本校ウェブページから様式(ワードファイル)をダウンロードし、使用してください。

(様式4)

受験番号	※
------	---

TOEIC トータルスコア成績申出書

令和 年 月 日

豊田工業高等専門学校長 殿

志 望 専 攻 _____

志望プログラム _____

氏 名 _____

令和4年4月1日以降に受験した TOEIC L&R (公開テスト又は IP テスト) のトータルスコアについて、関係書類を添えて申し出ます。

記

試験の種類	1. 公開テスト	2. IP テスト	(○で囲む)
試 験 日	令和	年	月 日
トータルスコア	点		

※印欄は、記入しないでください。

公開テストにおける「公式認定証」、又は IP テストにおける「個人成績表」の写しを1部添付してください。

なお、試験当日は、公式認定証又は IP テストにおける個人成績表（原本）を持参してください。

(様式5-1)

令和7年度
豊田工業高等専門学校専攻科

写真票 (推薦選抜)

受験番号	※		
志望専攻	専攻		
志望プログラム			
ふりがな		男・女	
氏名		男・女	
生年月日	昭和 平成	年 月 日	生

写真欄

(令和6年 月撮影)

出願前3か月以内に撮影したもので、上半身、正面、無帽、無背景の写真(パスポートサイズ)で、裏面に氏名を記入し、全面のりづけしてください。
--

※印欄は、記入しないでください。

令和7年度
豊田工業高等専門学校専攻科

受験票 (推薦選抜)

受験番号	※		
志望専攻	専攻		
志望プログラム			
ふりがな		男・女	
氏名		男・女	

学力試験等の日時及び場所

月 日		時 間
6月1日 (土)	面接	10時 ~
場 所	豊田工業高等専門学校 (豊田市栄生町2丁目1番地)	

(注) 裏面の「受験上の注意」をよく読んでおいてください。

※印欄は、記入しないでください。

受験上の注意

1. 試験場では、この受験票を必ず机の上に置いてください。
2. 当日は9時30分に学生課事務室前に集合し、係員の指示に従ってください。
3. 遅刻者は、試験本部の指示を受けてください。ただし、試験開始時刻を経過した後に試験室に到着した者については、受験を許可しません。

(様式5-2)

令和7年度
豊田工業高等専門学校専攻科
写真票 (学力選抜〔前期〕)

受験番号	※		
志望専攻	専攻		
志望プログラム			
ふりがな			男・女
氏名			男・女
生年月日	昭和 平成	年 月	日生

写真欄

(令和6年 月撮影)

出願前3か月以内に撮影したもので、上半身、正面、無帽、無背景の写真(パスポートサイズ)で、裏面に氏名を記入し、全面のりづけしてください。

※印欄は、記入しないでください。

令和7年度
豊田工業高等専門学校専攻科
受験票 (学力選抜〔前期〕)

受験番号	※		
志望専攻	専攻		
志望プログラム			
ふりがな			男・女
氏名			男・女

学力試験等の日時及び場所

月 日	科目等	時 間
6月1日 (土)	数 学	10時00分～11時30分
	専門科目	12時40分～14時10分
	面 接	14時40分～
場 所	豊田工業高等専門学校 (豊田市栄生町2丁目1番地)	

(注) 裏面の「受験上の注意」をよく読んでおいてください。

※印欄は、記入しないでください。

受験上の注意

1. 試験場では、この受験票を必ず机上に置いてください。
2. 当日は9時30分に学生課事務室前に集合し、係員の指示に従ってください。
3. 遅刻者は試験本部の指示を受けてください。ただし、試験開始時刻から20分を経過した後に試験室に到着した者については、受験を許可しません。
4. 試験場では、受験票、筆記用具、時計（時計機能のみの時計）以外は、机上に置いてはいけません。ただし、専門科目については、ルート及び四則計算のみの電卓使用を可とします。
5. 携帯電話等の電源は必ず切っておいてください。
6. 受験中、気分が悪くなった者は、手を挙げて監督者の指示を受けてください。
7. 受験中、不正行為があると認められたときは、直ちに退場を命じ、以後の受験は認めません。
8. 弁当を持参してください。
9. 試験場に時計は設置されていません。

(様式5-3)

令和7年度
豊田工業高等専門学校専攻科
写真票 (学力選抜〔後期〕)

受験番号	※		
志望専攻	専攻		
志望プログラム			
ふりがな		男・女	
氏名		男・女	
生年月日	昭和 平成	年 月 日	生

写真欄

(令和6年 月撮影)

出願前3か月以内に撮影したもので、上半身、正面、無帽、無背景の写真(パスポートサイズ)で、裏面に氏名を記入し、全面のりづけしてください。

※印欄は、記入しないでください。

令和7年度
豊田工業高等専門学校専攻科
受験票 (学力選抜〔後期〕)

受験番号	※		
志望専攻	専攻		
志望プログラム			
ふりがな		男・女	
氏名		男・女	

学力試験等の日時及び場所

月日	科目等	時間
11月9日 (土)	数 学	10時00分～11時30分
	専門科目	12時40分～14時10分
	面 接	14時40分～
場 所	豊田工業高等専門学校 (豊田市栄生町2丁目1番地)	

(注) 裏面の「受験上の注意」をよく読んでおいてください。

※印欄は、記入しないでください。

受験上の注意

1. 試験場では、この受験票を必ず机の上に置いてください。
2. 当日は9時30分に学生課事務室前に集合し、係員の指示に従ってください。
3. 遅刻者は試験本部の指示を受けてください。
4. 試験場では、受験票、筆記用具、時計（時計機能のみの時計）以外は、机上に置いてはいけません。ただし、専門科目については、ルート及び四則計算のみの電卓使用を可とします。
5. 携帯電話等の電源は必ず切っておいてください。
6. 受験中、気分が悪くなった者は、手を挙げて監督者の指示を受けてください。
7. 受験中、不正行為があると認められたときは、直ちに退場を命じ、以後の受験は認めません。
8. 弁当を持参してください。
9. 試験場に時計は設置されていません。

(様式5-4)

令和7年度
豊田工業高等専門学校専攻科
写真票 (社会人特別選抜)

受験番号	※		
志望専攻			専攻
志望プログラム			
ふりがな			男・女
氏名			男・女
生年月日	昭和 平成	年 月	日生

写真欄

(令和6年 月撮影)

出願前3か月以内に撮影したもので、上半身、正面向、無帽、無背景の写真(パスポートサイズ)で、裏面に氏名を記入し、全面のりづけしてください。

※印欄は、記入しないでください。

令和7年度
豊田工業高等専門学校専攻科
受験票 (社会人特別選抜)

受験番号	※		
志望専攻			専攻
志望プログラム			
ふりがな			男・女
氏名			男・女

学力試験等の日時及び場所

月 日	科目等	時 間
11月9日 (土)	専門に関する 論述試験	10時00分～11時30分
	面接	12時40分～
場 所	豊田工業高等専門学校 (豊田市栄生町2丁目1番地)	

(注) 裏面の「受験上の注意」をよく読んでおいてください。

※印欄は、記入しないでください。

受験上の注意

1. 試験場では、この受験票を必ず机上に置いてください。
2. 当日は9時30分に学生課事務室前に集合し、係員の指示に従ってください。
3. 遅刻者は試験本部の指示を受けてください。ただし、試験開始時刻から20分を経過した後に試験室に到着した者については、受験を許可しません。
4. 試験場では、受験票、筆記用具、時計（時計機能のみの時計）以外は、机上に置いてはいけません。
5. 携帯電話等の電源は必ず切っておいてください。
6. 受験中、気分が悪くなった者は、手を挙げて監督者の指示を受けてください。
7. 受験中、不正行為があると認められたときは、直ちに退場を命じ、以後の受験は認めません。
8. 弁当を持参してください。
9. 試験場に時計は設置されていません。

経費支弁計画書

豊田工業高等専門学校留学に要する経費の支弁方法について、記入してください。

志願者氏名			
国籍		性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女

1. 日本滞在中の学費及び生活費の支弁方法

該当する番号を選択してください。

<input type="checkbox"/> 1. 自己負担(自分の預貯金から負担する)		※預金残高がわかるものを別途添付してください。 (例:通帳の最終ページ)		
<input type="checkbox"/> 2. 仕送り	負担者氏名	志願者との関係		
<input type="checkbox"/> 3. 奨学金	支給団体名	金額(年額・月額) 円	受給期間 年～年	受給状況(いずれかに○) 申請中・認定済・受給中
	支給団体名	金額(年額・月額) 円	受給期間 年～年	受給状況(いずれかに○) 申請中・認定済・受給中
<input type="checkbox"/> 4. その他	以下に記入してください。			

2. 「2. 仕送り」を選んだ場合は記入

負担者連絡先	住所(〒番号を含めること):		
電話番号 (国コードから)	連絡可能言語 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 日本語	
Email(あれば)		<input type="checkbox"/> 英語	
		<input type="checkbox"/> 母国語	
負担者の 確認・署名	私は、当志願者が豊田工業高等専門学校留学をするにあたっての、経費支弁者となりましたので、以下のとおり経費支弁することを証明します。 また、当志願者が在留期間許可申請を行う場合等には、送金証明書や本人名義の預貯金通帳(送金事実、経費支弁事実が記載されたもの)の写し等、経費の支弁事実を明らかにする書類を提出します。		
	日付: 署名(自署):		
経費支弁内容	学費:半年ごと・年間(期間に○をつける) 円	学費の支弁方法(送金・振込等具体的に)	
	生活費:月額 円	生活費の支弁方法(送金・振込等具体的に)	
その他 (自由記載)			

振込依頼書

電信扱

依頼日 令和 年 月 日

振込先	三菱UFJ銀行		豊田支店
	普通預金	口座番号	4856789

受取人	コウセンキコウホンブ 高専機構本部		
-----	----------------------	--	--

振込依頼人	志望専攻	
	フリガナ	
	氏名	
	住所	
TEL () -		

手数料振込人負担

豊田工業高等専門学校検定料
(令和7年度入学者用)

振込額	¥	1	6	5	0	0
			手数料			

※ この様式ではゆうちょ銀行からの振込はできません。

出納済印

(検印)	(取扱い)	振替科目	当座・普通・貯蓄・別段

【志願者のみなさんへ】

ATM (現金自動預払機) による振込はしないでください。

(銀行控)

豊田工業高等専門学校検定料
(令和7年度入学者用)

領収書

令和 年 月 日

金額	¥	1	6	5	0	0
志願者	志望専攻					
	フリガナ					
	氏名					
振込手数料						

上記のとおり領収しました。

銀行

支店

取扱銀行領収印

収入印紙

銀行領収印のないものは無効とします。

(本人控)

豊田工業高等専門学校検定料
(令和7年度入学者用)

振込金証明書

令和 年 月 日

金額	¥	1	6	5	0	0
志願者	志望専攻					
	フリガナ					
	氏名					

銀行

支店

取扱銀行領収印

銀行領収印のないものは無効とします。

(提出用)

検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

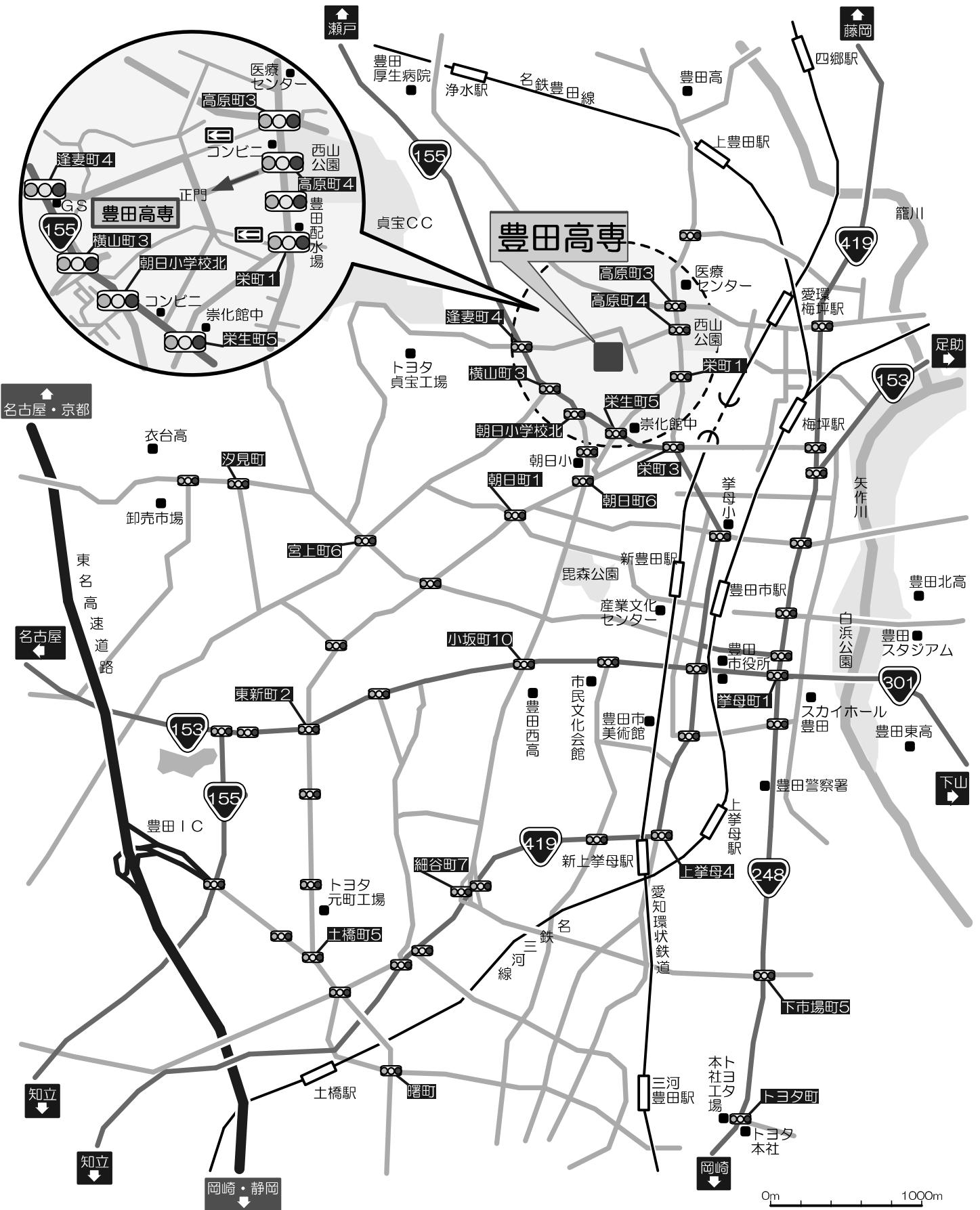
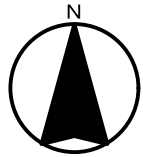
- 1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込はできません。ご利用の際は、『通帳とお届け印』又は『キャッシュカード』が必要です。
- 2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は募集要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、記入いただく必要があります。
- 3) 振込後は「振込依頼書（兼振替払出請求書）（お客さま控）」を受領してください。

※ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（サンプル）

振込先	三菱UFJ銀行 豊田支店 普通預金 4856789
受取人	ドクリツギヨウセイホウジン 独立行政法人 コクリツコウトウケンモンガツウキコウホフ 国立高等専門学校機構本部 スイトウメイレヤク 出納命令役 ジムキョクサヨシシマスノリヒコ 事務局長 清水 宣彦
振込額	¥16,500

※振込依頼書（兼振替払出請求書）（お客さま控）（サンプル）

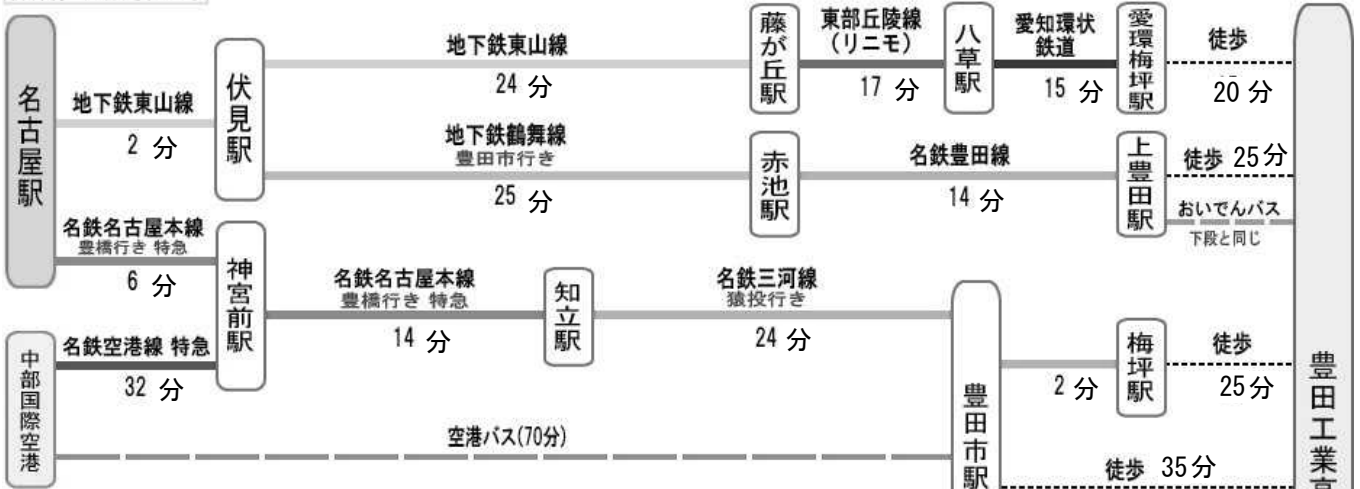
豊田高専周辺道路マップ



※道路交通規制に従い運転してください

交通アクセス

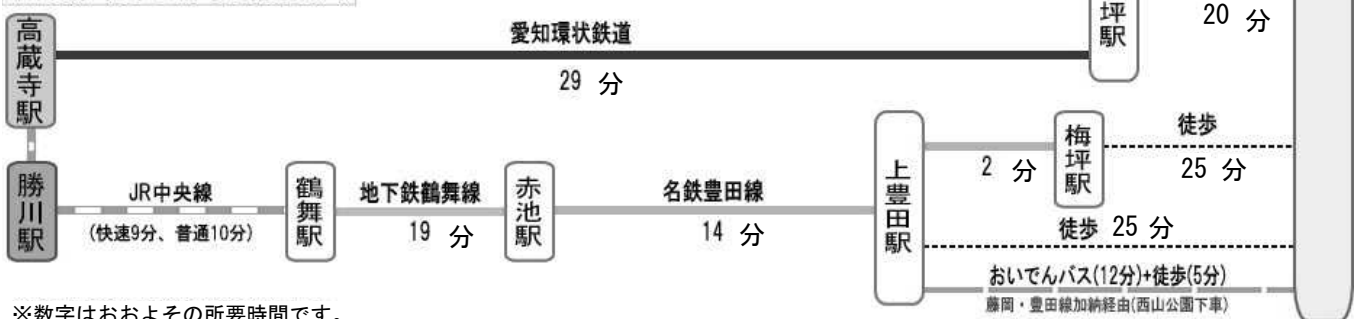
新幹線 大阪方面から



新幹線 東京方面から



JR中央線 長野・土岐・多治見方面から



※数字はおおよその所要時間です。
乗り換え時間は含みません。

専攻科入学試験に関する問合せ先

〒471-8525 愛知県豊田市^{えいせい}栄生町2丁目1番地
 TEL 0565-36-5912 (学生課教務係)
 FAX 0565-36-5922 (学生課教務係)
 ホームページ <https://www.toyota-ct.ac.jp>
 E-mail nyuushi@toyota-ct.ac.jp